

## 本県における豚熱の発生及び防疫対応について

### 1 発生の概要

- (1) 所在地：九戸郡洋野町  
(2) 飼養状況：約 17,500 頭（繁殖豚：約 1,500 頭、肥育豚：約 11,000 頭、子豚：約 5,000 頭）

### 2 患畜確認の経緯

期日	時刻	内容
5/27 (月)	13:30	農場から県北家畜保健衛生所に、豚熱を疑う異常豚の発生について報告
	17:00	県北家畜保健衛生所が農場に立ち入りし、臨床症状を確認、検査材料を中央家畜保健衛生所へ搬入
5/28 (火)	5:00	中央家畜保健衛生所において、遺伝子検査（PCR 検査）を実施した結果、11 頭中 11 頭で陽性を確認
	11:00	国の検査機関で確定検査を実施
	20:00	国において、患畜と判定

### 3 本県の防疫対応等

#### (1) 経過

期日	時間	防疫措置
5/28 (火)	20:00	・豚熱対策本部の設置 ・発生農場に対し、飼養豚や生産物等の移動自粛、部外者の立入制限など、まん延防止措置の徹底を指示
	21:00	・発生農場での殺処分を開始
5/29 (水)	17:00	・埋却地の掘削を開始
5/30 (木)	17:00	・殺処分した豚の埋却を開始
6/17 (月)	14:00	・発生農場での殺処分を完了（殺処分した豚：19,780 頭） ※患畜判定後に生まれた子豚を含む
6/18 (火)	—	・発生農場の消毒を開始
6/20 (木)	15:00	・殺処分した豚等の埋却を完了、発生農場の消毒（1回目）を完了
6/27 (木)	15:00	・発生農場の消毒（2回目）を完了
7/4 (木)	15:00	・発生農場の消毒（3回目）を完了 ※豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づく対応完了

## (2) 防疫措置等への従事者数等 ※7/4 時点

### ア 県職員

延べ 4,412 人（防疫作業に直接従事した職員 延べ 3,141 人、地方支部において運営等に従事した職員 延べ 1,271 人）

### イ 県外からの応援獣医師

延べ 104 人（30 道県及び国：北海道、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、山梨県、岐阜県、静岡県、三重県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、農林水産省動物検疫所、農林水産省動物医薬品検査所）

### ウ 関係団体等の職員

延べ 1,498 人（洋野町 延べ 142 人、久慈市 延べ 2 人、JA 新いわて 延べ 126 人、岩手県建設業協会久慈支部 延べ 1,228 人）

## (3) 防疫措置への協力団体・企業

協力団体・企業	業務内容
洋野町	発生農場における消毒作業、集合施設・救護所の運営等
久慈市	救護所の運営
JA 新いわて	集合施設の運営等
(一社) 岩手県建設業協会久慈支部	殺処分した豚の埋却作業等
(公社) 岩手県トラック協会	防疫作業に使用する資機材等の運搬
(公社) 岩手県バス協会	防疫作業従事者を移送するためのバスの手配
(一社) 岩手県高圧ガス保安協会	豚の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
(一社) 日本建設機械レンタル協会岩手支部	防疫作業に使用する資機材等の調達
岩手県動物薬品器材協会	防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
株式会社ドコモビジネスソリューションズ	緊急対応用スマートフォンの提供（無償）
佐川急便株式会社北東北支店	防疫作業に使用する資機材の県外からの搬送

#### (4) 農林水産省からの支援

ア 県との連絡調整のため、農林水産省職員をリエゾン派遣（畜産課に駐在 5月28日～30日）

イ 発生原因調査のため、疫学調査チームが農場への立入調査を実施（5月29日）、現在、国において原因を分析中

#### 4 豚熱本部の廃止

防疫措置の完了に伴い、7月4日（木）16時に対策本部を廃止。

#### 5 今後の対応

県内の養豚農場に対し、ウイルスの侵入防止のための飼養衛生管理の徹底や、適切なワクチン接種などを継続するよう、注意喚起を継続。